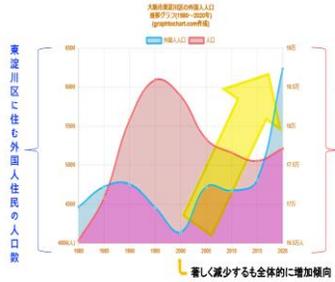


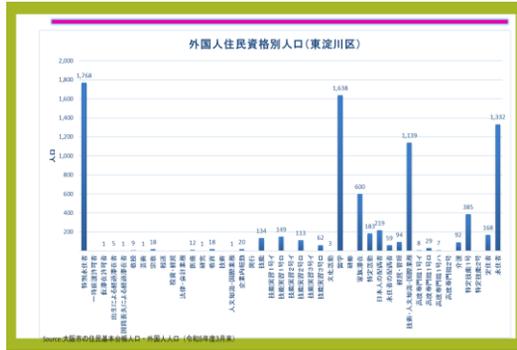


研究調査の背景 - 地域(大阪市東淀川区)の課題 - 地域コミュニティとはかかわりの薄いことによる情報の非対称性

- 大阪北部地震を体験した区内在住の留学生
- コロナ禍1年目、高齢者のワクチン接種が段階的に始まったころ...



Source: GraphToChart (https://graphtochart.com/japan/oshikashi-higashiyodogawa-foreigners-total.php?filenamel1113) (2024年6月10日閲覧利用)



- 実態1
- ・外国人人口の増加
- 実態2
- 役所から発信する緊急性の高い情報については、直接入手する術を持っていない方が多い。
- 役所からの広報紙は見えていない、役所のHPも見えていない、役所のSNSの登録してない(by 大阪市東淀川区区役所地域課)。

アンケート・インタビュー調査調査~NPO・留学生~

情報の非対称性について 調査場所: 箕面市多文化センター

- ・日本に在住する外国人住民に足りない情報が多く、情報の非対称性が問題点である
- ・日本人が外国人住民の背景を知ろうと人権共生社会を目的とする必要がある

在留外国人の割合

【令和5年法務省】



3つの壁について

- 言語の壁**
 - ・多言語に対応している公的な場所が少ない
 - 制度の壁**
 - ・OECD加盟国である日本だけ参加がない
 - ・難民支援では入管法により移民排斥の流れ
 - 心の壁**
 - ・差別や文化の違い
- | 目的 | 手段 | ビジョン |
|----------------|--------|----------------|
| ・人権保障
・共生社会 | ・異文化交流 | ・コミュニティをたくさん作る |

実際に外国人の情報が行政に伝わるまで



留学生アンケート結果

- 日本に来た理由**
 - ・日本で働きたい
 - ・日本の自動車産業に関わりたい
 - ・日本の文化、技術が好き
 - 地域の方との交流**
 - ・国際交流 (今回行ったような交流)
 - ・アルバイト
 - ・近所のおばあちゃんやラジコ体操をする
 - 地域の生活で不便に思うこと**
 - ・お店での注文
 - ・日本人の話すスピード
 - ・学費が高い
 - ・物価が高い (電車賃、通話料金等も含む)
 - どのような地域の情報が欲しいか**
 - ・国際免許証をどうやって発行するのか
 - ・体育館の借り方
 - ・地震が発生したときの対応
- 実際には、学校やアルバイト先などのコミュニティがあるため、大半の人は情報の入手には困っていませんでした。

検討・アイデア (外国人参加型イベント~準備段階から~) 地域情報交流掲示板設置

情報の入手に困っている人は所属しているコミュニティがない。
まずは関わりやすい身近な留学生との交流を行い、
コミュニティを徐々に広げていこうと考えた。

下記3つを達成するため
かみしんプラザで異文化交流サマージョイントを決定

- 情報をお互い教える関係の構築
- 日本の文化を知ってもらう
- 心の壁を壊し新たなコミュニティを広げる

地域情報交換掲示板

留学生	東淀川区のいいところ(感じること)
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の壁 ・日本人が外国人とコミュニケーションを取りたいのかわからない ・日本人は外国人に対しを偏見を持っている現状 ・日本の友達を作れるような機会が欲しい ・日本が閉鎖的である ・日本は関わりを持つ積極性に欠ける ・おもてなし、思いやりの精神は日本の宝 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園など子供が安心して遊ぶ環境が整っている ・食材を安く販売する店やスーパーが多くあり、充実している ・学生や子供が多く活気がある地域 ・様々な年代の交流がなされている ・アクセスが良い ・子供が楽しめるようなイベントが増えしてほしい ・0~2歳ぐらいの子供が遊べる室内の場所を増やしてほしい



異文化交流サマージョイント

- 目的**
 - ・コミュニティがないこと・情報共有の問題を解消
- 内容**
 - ・東淀川区にある「かみしんプラザ」で、古賀ゼミナール・国際未来学院の学生、安積濾紙株式会社がつらとなり、異文化交流のイベントを企画し開催
- 注力した点**
 - ・日本文化として、「トントン相撲」、「うわづのり」の体験
 - ・マンガ文化「風船張子」、「オブジョーヤコウ」
 - ・地域に住む日本人や外国人、留学生が意見を各掲示板、地域情報交換掲示板を作成



総括と実現までの流れ

成果

- 交流する場の提供
- 各団体との話し合いを重ね、スムーズに開催
- 留学生が困っていることを可視化

不足

- コミュニティの形成まで至らず
- 掲示板の情報の盛り(地域住人側が少ない)
- 日本人の外国への理解の可視化

発見

- 言葉の壁の現状
- 日本人と外国人双方の偏見や認識
- 東淀川区が充実した住みやすい地域



今後の展望の具体案

- 外国人住民や地域の人が交流するイベント以外でも情報を入手できる場所を設ける
- 外国人住民・地域の人がよく利用する場所(駅・かみしんプラザなど)に隣でも書ける掲示板を設置する
- 団体に入っている人同士が交流するだけではなく、団体に入っていない人が交流できる形を作る(これからの活動の主体になる人、参加していく人を増やす)

団体に入っていることを問わず交流したいと考えている外国人住民を中心にイベントを行うことで、さらなるコミュニティの拡大を目指し、SNSなどの情報拡散の方法を工夫する

2025年度	内容	備考
1月	・異文化交流の推進 ・SNS等情報共有の構築 ・地域生活の理解 ・外国人生活協会のボランティア	既3月3日と2月2日の2回イベント開催
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		